

嘉麻市食料・農業・農村政策審議会 会議録

1. 協議会の名称 令和7年度第1回嘉麻市食料・農業・農村政策審議会
2. 開催日時 令和8年3月23日(月) 10時00分～11時00分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 5A会議室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
委員 大里茂晴、中村由美、松村曜子、福澤準子、武田八重子、大里純子、萩尾邦広、松熊茂、山崎健一、原口秀一、松岡雄二
 - (2) 執行機関
農林振興課長 飯田康宏、農業委員会事務局長 松尾典子、農林振興課課長補佐 坂本康二、農政係長 杉良一
7. 傍聴人数(会議を公開とした場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 第2次嘉麻市食料・農業・農村基本計画の目標に対する進捗状況について

【審議の内容】

- (1) 事務局より、第2次嘉麻市食料・農業・農村基本計画の目標に対する進捗状況についての説明を行った。

<委員からの質問>

- ・農産物直売所の課題は何か。
⇒米の品薄・価格上昇により来客数が減少したものと推察する。
- ・新規就農者の内訳についてどうか。
⇒新規参入者(非親元就農者)が5名となっている。

- (2) その他、事務局より、委員改選時期について連絡した。

9. 配布資料

- (1) 次第、出欠簿、第2次嘉麻市食料・農業・農村基本計画(抜粋版)並びに進捗状況資料

上記に相違ないことを確認する

令和8年3月26日

会議録確認者署名

山崎健一
福澤準子

令和7年度 第1回
嘉麻市食料・農業・農村政策審議会

日 時：令和8年3月23日（月） 午前10時00分
場 所：嘉麻市役所 5階 5A会議室
出席者：出欠簿のとおり

次 第

1. 開会

(1) 会長あいさつ

2. 協議事項

(1) 第2次嘉麻市食料・農業・農村基本計画の進捗状況について

3. その他

令和7年度第1回嘉麻市食料・農業・農村政策審議会 出欠簿

日時：令和8年3月23日（月） 午前10時00分

場所：嘉麻市役所 3階 5A会議室

	氏名	選出機関等	出欠	任期
委員	大里 茂晴	農事区代表	出・欠	R7.5.30～R8.9.30
	中村 由美	農業委員会委員	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	松村 曜子	飯塚普及指導センター (福岡県女性農村アドバイザー)	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	福澤 準子	食生活改善推進委員会	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	武田 八重子	農事組合法人カッホー馬古屏	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	大里 純子	福岡嘉穂農業協同組合 (女性部)	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	萩尾 邦広	福岡嘉穂農業協同組合 (認定農業者)	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	山崎 健一	福岡嘉穂農業協同組合 (集落営農組織・法人)	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	松熊 茂	嘉麻市環境保全型農業組織	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	原口 秀一	市民公募委員	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
	松岡 雄二	市民公募委員	出・欠	R6.10.1～R8.9.30
事務局	飯田 康宏	農林振興課長	出・欠	
	松尾 典子	農業委員会事務局長	出・欠	
	坂本 康二	農林振興課長補佐	出・欠	
	杉 良一	農林振興課農政係長	出・欠	
	野見山泰治	農林振興課農政係	出・欠	

抜粋版

第2次
嘉麻市食料・農業・農村基本計画

「食で元気、農業も元気、農村が元気 豊かな嘉麻」



令和5年3月
嘉麻市

第3章 市の基本施策

3-1 施策体系

食料・農業・農村の将来像		基本施策	市が実施する施策・支援
食料	<p>地域の食材で 元気な市民に</p> 	①地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ◆優良農家の取り組み事例の紹介、情報発信、直売所への出荷奨励 ◆直売所での各種イベント支援 ◆学校給食における地元食材を活用した地産地消の推進 ◆安心・安全な食材普及の推進
		②食育(食農)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆食育関係出前等講座の支援 ◆学校における農業体験等食育(食農)の推進
		③食料、農業及び農村に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ◆マルシェ等の広域活動の実施
農業	<p>農業者の熱意と 豊かな発想で 元気な農業へ</p> 	④若い担い手の育成確保及び農業経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ◆新規就農の促進支援 ◆若い農業者や女性農業者の担い手育成・確保 ◆集落営農・法人の支援
		⑤地域で生産される農産物の信頼確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆有機栽培等の取組への支援 ◆安心・安全な食材普及の推進
		⑥農業生産・流通現場のイノベーション(技術革新)の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業者へのスマート農業加速化支援
農村	<p>農業者と市民が 一体となって 元気な農村へ</p> 	⑦生産基盤の維持、保全等による多面的機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ◆荒廃農地の発生抑制 ◆農村環境の整備
		⑧農地、農業用水その他の農業資源の確保及び環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ◆汚水処理施設の普及 ◆農業基盤の維持・保全及び災害に強い農地等の整備
		⑨グリーンツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光農園等農業体験の推進

3-2 基本施策とその内容

市が実施する施策についてその内容を以下に具体的に示します。

① 地産地消

◆ 優良農家の取り組み事例の紹介、情報発信、直売所への出荷奨励

本市には、有機栽培などにより優良な農産物を生産する農家が多数存在します。これらの取り組みを直売所などで取り上げ積極的に市民に紹介します。また、これらの農家には市内の直売所出荷を促し、市民に安心・安全な農産品の提供をしてもらうように努めます。

◆ 直売所での各種イベント支援

3つの直売所において開催される四季折々のイベントの支援を行い、市民の直売所への関心度を高めます。また、都市部の消費者へのアプローチを行い、イベント開催により都市部との交流を図り、「新鮮・安全・おいしい」をモットーに嘉麻市ブランドの農産物の確立に努めるとともに、直売所の売上向上に寄与します。

◆ 学校給食における地元食材を活用した地産地消の推進

本市では、地元の農家が生産する農産物を積極的に学校給食に取り入れ、小中学生の頃から『食』への関心を高め、学校給食への地元食材の地産地消の推進に努めます。

◆ 安心・安全な食材普及の推進

福岡県飯塚普及指導センターやJA等が開催するGAP(農業生産工程管理)や農薬の安全性等に関する研修等を開催し、安心・安全な食材の生産に優れた農業者を育成し、安心・安全な地元農畜産物の生産及び普及の推進に努めます。

② 食育(食農)の推進

◆ 食育関係出前等講座の支援

本市の豊かな農産物を活用した食育の推進を図るため、食生活改善推進委員会等が実施する出前等講座や地元食材を活用した料理教室等を実施し、食育推進に努めます。

◆ 学校における農業体験等食育(食農)の推進

本市では、食育(食農)としての農業体験等学校における食育(食農)への取り組みの推進に努めます。

③ 食料、農業及び農村に関する情報発信

◆ マルシェ等の広域活動の実施

本市は、福岡都市圏や北九州都市圏へ1時間圏内にあります。この立地条件の優位性を生かして、マルシェ等の広域活動の支援を積極的に行います。また、ふるさと納税の活用やインターネット通販、ホームページ、SNS等やふるさと納税を活用しながら、嘉麻市及び嘉麻市の農産物のPR活動に努めます。



※農林水産省作成「食料・農業・農村基本計画の概要(令和2年3月)」参照

④若い担い手の育成確保及び農業経営の確立

◆新規就農の促進支援

本市の就農者の高齢化は進んでいます。このままでは就農者のほとんどが高齢者ということになります。このため、新規就農者の導入は緊急の課題です。国の補助制度等を活用しながら、福岡県飯塚普及指導センターやJA等の農業者団体、農業者などと連携して新規就農希望者に対して情報提供を行い、就農相談などを実施し、新規就農研修機関等を活用しながら、新規就農者の確保に努めます。

◆若い農業者や女性農業者の担い手育成・確保

福岡県飯塚普及指導センターやJA等の農業者団体、農業者などと連携して、若い農業者の担い手に対して経営に関する研修会などを開催し、経営感覚に優れた農業者を育成するとともに、一定の要件を満たす農業者を認定新規農業者や認定農業者に認定し、これらを重点的に支援していき、地域の農業の先導的担い手となるように努めます。

◆集落営農・法人の支援

農業経営の合理化、効率化を図るため本市では、機械利用組合、集落営農、農業生産法人など集団での営農組織の設立を支援します。今後は、農業への企業の参入も検討の範囲に入れる必要があり、地域の状況に応じて適切な担い手の導入、確保に努めます。

⑤地域で生産される農産物の信頼確保

◆有機栽培等の取組への支援

本市は有機栽培等へ取り組む農業者が多く、これは消費者の志向が食の安全・安心へと強く向かっているためであり、この傾向は今後一層強まるものと思われます。このような有機栽培等への研修や機械の導入などについて積極的に支援していき、嘉麻市産農産物の信頼性の確保に努めます。

◆安心・安全な食材普及の推進

福岡県飯塚普及指導センターやJA等が開催するGAP(農業生産工程管理)や農薬の安全性等に関する研修等を開催し、安心・安全な食材の生産に優れた農業者を育成し、安心・安全な地元農畜産物の生産及び普及の推進に努めます。

⑥農業生産・流通現場のイノベーション（技術革新）の促進

◆農業者へのスマート農業加速化支援

本市の就農者の高齢化は進んでおり、就農者そのものの減少に繋がります。そのため、農業現場でのデジタル技術を活用した効率的な農業経営に向け、国や県の支援策を活用しながら、ロボットトラクターやドローン等のスマート農業機械の導入を促進します。



※農林水産省作成「食料・農業・農村基本計画の概要(令和2年3月)」参照

⑦生産基盤の維持、保全等による多面的機能の発揮

◆荒廃農地の発生抑制

農業委員会と連携し荒廃農地の把握(農地パトロール等)に努めるとともに、指導や解消に努め、農地を意欲的な地域の担い手等へ斡旋・集約し、効率的な農業生産を目指します。また、荒廃農地等により多面的機能の低下が懸念される中山間地域においては、中山間直接支払制度等を活用しながら、集落協定の推進を図り、農地の多面的機能を確保します。

◆農村環境の整備

農村の景観維持、環境美化に努めます。また、多面的機能支払制度等を活用しながら、集落協定の推進を図り、市民が積極的に農業とかかわり農業・農村の資源維持の意識が形成されるよう努めます。

⑧農地、農業用水その他の農業資源の確保及び環境保全

◆汚水処理施設の普及

農業・農村の水質を保全するために、汚水処理施設の整備に努めます。

◆農業基盤の維持・保全及び災害に強い農地等の整備

より生産効率の高い農業を目指すため、農用地における多面的機能支払制度取組実施率を上昇させ、農地、農道、利水施設等の農業生産基盤を維持・保全し農村の環境保全及び災害に強い農地づくりに努めます。

⑨グリーンツーリズムの推進

◆観光農園等農業体験の推進

本市では嘉穂地域の馬見地区(宮小路)にて「フルーツフェア(収穫祭)」や観光農園等による農業体験が行われています。今後も既取組集落の支援を行うとともに、新たな地域での農業体験活動の実施を推進・支援を行い、都市住民との交流を深めていきます。



※農林水産省作成「食料・農業・農村基本計画の概要(令和2年3月)」参照

第2次嘉麻市食料・農業・農村基本計画（令和5年3月策定）の目標に対する進捗状況

資料

令和8年3月23日現在

大項目	中項目	小項目	現状値 (R3)	⇒	実績値 (R6)	中期目標値 (R9)	後期目標値 (R14)	中期目標値と 実績値の差
食料に関する目標	①地産地消	3つの農産物直売所の利用者数	60.8万人	⇒	57.4万人	62.0万人	63.0万人	△4.6万人
		学校給食における地産地消の推進	27.2%	⇒	28.4%	28.5%	30.0%	△0.1%
	②食育（食農）の推進	出前講座等受講者数	543人	⇒	511人	700人	900人	△189人
		食育（食農）に取り組む小学校数	8校	⇒	8校	8校	8校	0校
	③食料、農業及び農村に関する情報発信	観光入込客数 （嘉麻市への年間観光客数）	29.0万人	⇒	26.2万人	30.0万人	31.0万人	△3.8万人
		ふるさと納税額	2億8,147万円	⇒	3億5,251万円	3億円	3億2000万円	5,251万円
農業に関する目標	④若い担い手の育成確保及び農業経営の確立	新規就農相談件数	9人	⇒	12人	10人	11人	2人
		認定新規就農者数 （就農時49歳以下）	14人	⇒	14人	20人	25人	△6人
		新規就農研修機関研修生数 （就農時49歳以下）	1人	⇒	4人	3人	5人	1人
		集落営農・法人数	32件	⇒	31件	35件	38件	△4件
		認定農業者のうち若手農業者割合 （49歳以下）	29.0%	⇒	31.7%	31%	33%	0.7%
	⑤地域で生産される農産物の信頼確保	有機栽培等取組農家数	62戸	⇒	—	65戸	70戸	—
	⑥農業生産・流通現場のイノベーション（技術革新）の促進	スマート農業機械の導入 （ロボットトラクター、ドローン等）	3件	⇒	2件	4件	5件	△2件
農村に関する目標	⑦生産基盤の維持、保全等による多面的機能の発揮	中山間地域等直接支払制度取組集落	20集落	⇒	19集落	21集落	22集落	△2集落
		中山間地域等直接支払制度取組面積	355.1ha	⇒	354.6ha	355.5ha	356.0ha	△0.9ha
		荒廃農地（遊休農地）の割合	1.0%	⇒	1.2%	0.9%	0.8%	0.3%
	⑧農地、農業用水その他の農業資源の確保及び環境保全	汚水処理人口普及率	48.0%	⇒	49.3%	56%	64%	△6.7%
		農用地における多面的機能支払制度 取組実施率	58.0%	⇒	61.8%	65%	70%	△3.2%
	⑨グリーンツーリズムの推進	観光入込客数 （嘉麻市への年間観光客数）	29.0万人	⇒	26.2万人	30.0万人	31.0万人	△3.8万人